

平成 30 年度

工賃向上支援事業（障害者生産活動支援事業） 報告書



事業目的

障害者が工賃のアップを通じて地域で生き生きと「その人らしく暮らす」とともに、障害者の地域生活を支える「いきがい」の場のひとつとなっている事業所が、生産活動を充実させ、支援力を高めることなどを目的として、神奈川県内において、障害者総合支援法に規定する就労継続支援、地域活動支援センター等を行う事業所のうち、工賃支払規定を有し、かつ工賃向上計画を作成している事業所（以下「事業所」という。）を対象に事業を実施しました。

事業報告

共同受注窓口組織推進事業

複数の事業所が共同して工賃を引き上げることを目的に、県共同受注窓口組織（以下「はたらき隊かながわ」という。）を次のとおり運営しました。

共同受注窓口の運営

企業・官公庁等から受注業務を獲得するため、営業担当者を配置して、営業活動、および県共同受注窓口登録事業所への受注業務の配分コーディネート、契約事務および納品取りまとめ等の支援を行いました。

ア 所在地 〒252-0804
神奈川県藤沢市湘南台 1-7-8 エスポワール 304
tel:0466-53-7802 / fax:0466-53-7803

イ 営業担当者数 1名（稼働日数 253日）

ウ 登録事業所数 378 事業所
圏域別登録数は次のとおりです。

区分	圏域	登録数
1	横浜	121
2	川崎	57
3	相模原	31
4	横須賀三浦	35
5	湘南東	33
6	湘南西	42
7	県央	43
8	県西	16
計		378

<加盟促進>

登録事業所の募集にあたっては、はたらき隊かながわWEBサイトへの掲載、障害福祉情報サービスかながわを活用した周知、イベント開催時での周知、受注分配時の同時登録等により行いました。

エ 情報発信

登録事業所の情報を取りまとめ、はたらき隊かながわ WE Bサイトにて企業、県民、行政機関などに向けて情報発信しました。併せて、障害者生産活動支援事業のイベント情報についてもお知らせしました。

URL : <http://www.kyodo-juchu.com>



オ 共同受注窓口組織の自主運営に向けた方策の検討

工賃アップ推進検討会（年2回）において、共同受注窓口組織の自主運営に向けた方策について検討いたしました。

受注実績

平成30年度における受注実績は、次のとおりです。

受注件数	配分数	受注額
462件	681件	70,324,258円

【月別実績額】

月	受注額	配分件数
4月	20,446,800	53
5月	5,025,068	57
6月	6,559,462	73
7月	8,048,995	80
8月	3,665,597	45
9月	3,111,368	49
10月	4,446,132	76
11月	2,762,128	54
12月	5,059,368	45
1月	2,766,596	43
2月	5,746,691	71
3月	2,686,053	35
合計	70,324,258	681

【受注の内訳】

区 分		金 額	比 率
総受注額		70,324,258	100.0%
内 訳	官 公 需	52,173,852	74.2%
	神奈川県	38,515,752	54.8%
	国	7,629,721	10.8%
	独 法	1,952,429	2.8%
	市 町 村	4,075,950	5.8%
	民 需	18,150,406	25.8%

官公需の状況

<機関別実績>

区 分	受 注 額	割 合
神 奈 川 県	38,515,752 円…小計 ①	73.8 %
国	7,629,721 円…小計 ②	14.6 %
独 法 他	1,952,429 円…小計 ③	3.8 %
市 町 村	4,075,950 円…小計 ④	7.8 %
合計①+②+③+④	52,173,852 円	100.0%

<分類別実績>

区分	品目	具体例	金額 (円)	件数
物 品	消耗品・日用品	事務用品、ゴム印、衛生用品等	1,460,736	39
	自主製品 (食品・非食品)	パン、弁当、菓子類、野菜、果物、草花、雑貨など	3,649,914	35
	切手、レターパック	切手、レターパック	4,978,119	18
	その他	ウエス、防災食、衣類など	4,405,244	7
	小計		14,494,013	99
役 務	印刷	ポスター、チラシ、リーフレット、雑誌、名刺、封筒などの印刷	15,265,272	86
	クリーニング	クリーニング、リネンサプライなど	9,676,150	43
	清掃・環境整備	除草作業、剪定、ワックスがけ清掃、環境整備など	4,591,226	15
	その他サービス	水道メーター解体、仕分け封入 (印刷も含む) など	8,147,191	5
	小計		37,679,839	149
合計		52,173,852	248	

(2) 部会の設置

<共同受注窓口部会の設置・運営>

共同受注窓口組織に登録する事業所・施設から、県内の障害福祉圏域において共同受注のハブ機能を有することが見込まれる事業所を代表者として指名し、共同受注窓口営部会を次のとおり開催しました。

部会構成員（敬称略）

横 浜	根 橋 達 治	社会就労センターしらね
川 崎	勝 亦 明	セルプきたかせ
相模原	矢 嶋 正 貴	ワークショップフレンド
湘南東	鈴 木 暢	ハートピア湘南
湘南西	庭 野 勉	しんわルネッサンス
県 央	塚 原 正 臣	コペルタ貴志園
県 西	近 藤 秀 樹	ほうあん第1しおん

第1回開催

日 時 平成30年12月10日 午後3時30分から午後5時まで

場 所 特定非営利活動法人神奈川セルプセンター会議室

内 容

ア ハブ事業所設置による受注拡大の検討

課題：受注単価の良い仕事を受けるためには、少しでも発注元に近い段階での受注が必要である。この様な受注をした場合には、受注量が大量になるため、大型トラックの乗り入れが可能であり、フォークリフトを所有する事業所が必要となる。

方策：大型トラックの乗り入れが可能であり、フォークリフトを所有する事業所情報の収集を部会構成員に依頼する。

イ コインパーキング清掃業務（県内85ヶ所）の受託方法の検討

課題：事業所の外部で実施する作業であるため、職員の人員不足を理由に作業実施を希望しない事業所もある。県内85ヶ所全ての駐車場の業務受託が可能か見えにくい。清掃業務の経験のない事業所の参画が可能か。

方策：部会構成員の所属する事業所をハブ事業所として、圏域の実施事業所の選定、開始時の指導役とすることとした。

ウ 食品チェーン店の店舗除草、剪定業務の実施検討

課題：過去2年間の請負実績を鑑みると、仕上がりの状況等に格差が生じている。

方策：ハブ事業所を設置し、他事業所の指導役を担うこととした。実施希望の事業所をあらためて募り、新たな体制で受託することとした。

エ 商品販売会における効果的な商品陳列の方策検討

課題：集客のある販売会場であっても、売れ行きが伸び悩んでいる。魅力的な商品であっても売上に繋がっていない状況がある。商品に関連する法令について遵守されていない状況も見られた。

方策：販売の陳列やPOPの活用など企業の行う販売に見劣る状況を改善する必要がある。

第2回開催

日 時 平成31年2月6日 午後1時から3時まで

場 所 神奈川県社会福祉会館会議室

内 容

ア ハブ事業所設置による受注拡大の検討

課題：情報を収集したところ、横浜、川崎の圏域について、ハブ事業所の設置が難しい状況が判明した。

方策：ハブ事業所として条件の整っている湘南東、湘南西、県央の圏域については、他圏域に先行して共同受注の仕組みづくりを行い、モデル的な取り組みを展開する。

イ コインパーキング清掃業務の受託方法の検討

課題：各圏域において、清掃業務の受託に温度差がみられた。

方策：清掃業務を実施可能な事業所がやり手のない圏域の駐車場清掃を受け持つことで、県内85ヶ所の駐車場清掃を可能とした。

ウ 食品チェーン店の店舗除草、剪定業務の実施検討

課題：過去2年間の請負実績を鑑みると、仕上がりの状況等に格差が生じている。

方策：ハブ事業所を設置し、他事業所の指導役を担うこととした。実施希望の事業所をあらためて募り、新たな体制で受託することとした。

エ 商品販売会と商品陳列研修の同時開催の検討

課題：集客のある販売会場であっても、売れ行きが伸び悩んでいる。魅力的な商品であっても売上に繋がっていない状況がある。商品に関連する法令について遵守されていない状況も見られた。(前回開催の課題再掲)

方策：商品販売会と並行して、専門家を招き商品陳列の研修を開催することは、有効な手段となり得る。

オ その他

各圏域より代表者を招き意見を交換するこの部会の継続は、工賃向上に有効な方策となり得る。

＜県庁販売会＞

ゴールデンウィークに実施する神奈川県庁の庁舎公開日に併せて、障害福祉サービス事業所等による共同販売会を開催しました。

日 時 平成30年5月3日及び4日

場 所 神奈川県庁本庁舎正面玄関横駐車場

出店事業所 7事業所



事業報告 II

発注に貢献した企業への表彰事業

民間企業から対象事業所への発注を促進することを目的に、対象事業所へ業務発注をした企業などに対して表彰を行いました。

(1) 選考委員会

選考委員

藤田 直哉 公益社団法人けいしん神奈川

在原 理恵 県立保健福祉大学

池上 和幸 神奈川県障害福祉課

発注に貢献した企業の推薦期間

平成30年9月13日～平成30年10月15日

表彰の対象となる推薦要件

- ア 平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間で、対象事業所に年間 100 万円以上の発注を 2 年以上連続して継続していること。または、平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間で、年間 50 万円以上の発注を 4 年以上連続して継続していること
なお、複数の事業所への発注で要件を満たしていれば対象となります。
- イ 同一企業・同一法人でないこと。親族の経営する企業でないこと。
- ウ 労働関係法規を遵守していること。
- エ 過去、本事業で表彰を受けていないこと。

(3) 選考委員会

- ア 開催日時 平成 30 年 10 月 29 日 16:00 から 17:00
- イ 開催場所 神奈川県社会福祉会館会議室
- ウ 結 果 発注に貢献した企業表彰について、8 者の推薦があった。
8 者全ての企業が推薦要件を満たしていたことから、表彰の企業に決定した。(後日 1 者が表彰を辞退する。)

(2) 表 彰 式

開 催 日 平成 30 年 12 月 8 日 (共生社会実現フォーラム内で実施)

開催場所 はまぎんホールヴィアマーレ

表彰企業及び推薦事業所

日本理化学工業株式会社	わかたけ作業所
太陽シールパック株式会社	工房小野橋
株式会社ベストリネンサプライ	第 3 ありんこホーム
医療法人丹沢病院	コスタ二宮
株式会社大木	ハートピア湘南
株式会社加賀谷ブリック	みんなの広場
株式会社ソディック	ワークショップ SUN 横山



農業分野での障害者の就労を支援し、障害者の職域拡大や工賃向上を図るとともに、農業の担い手不足解消につなげることを目的に、次の事業を実施しました。

(1) セミナーの開催

新たに農業分野への参入や6次産業化の取組み等を検討している事業所を対象に、セミナーを開催しました。

日 時 平成31年2月12日 午前10時から午後4時まで

場 所 かながわ県民センター 12階 第2会議室

参加者 56名

内 容

ア 農業参入の手続、支援制度等について

神奈川県立かながわ農業アカデミー 就農企業参入課 主査 加古 師幸氏

イ 6次産業化の概要、支援制度等について

神奈川県6次産業化サポートセンター 企画推進員 矢野 ふき子氏

ウ 障害福祉サービス事業所の農福連携の取組み事例

ほうあん第一しおん 所長 近藤 秀樹氏

農事組合法人俺たちのファーム 代表理事 林 やすなり氏

エ 障がい者を雇用する企業の農福連携の取組み事例

株式会社 元気もりもり山森農園 代表取締役 山森 壮太氏

オ 神奈川県内の農福連携事例ー進和学園の農産加工所ー

神奈川県農業技術センター 生産環境部 品質機能研究課 課長 吉田 誠氏



(2) 相談会の開催

新たに農業分野への参入を検討している事業所や6次産業化の推進等に係る取組みを検討している事業所等に対して、セミナーの開催と併せて農業技術等に関する相談会を開催しました。

日 時 平成31年2月12日 11:50～12:35

場 所 神奈川県民センター会議室

相談件数 7件

内 容

ア 農業参入の手続き、支援制度等について

神奈川県立かながわ農業アカデミー就農企業参入課 課長 堀越 香代子氏
主査 加古 師幸氏

イ 6次産業化の概要、支援制度等について

神奈川県6次産業化サポートセンター 企画推進委員 矢野 ふき子氏

ウ 相談結果の概要

(ア) 相談概要 農福連携を行う事業所に対して助成金はあるのか。また、農業アカデミーからどのような援助が受けられるのか。

助言内容 農福連携に対して助成金はないが、就農に必要な情報の提供、農業アカデミーでの研修教育がある。農地借入の基準と仕組み、技術支援として農業アカデミーでの体験研修、入校しての技術習得、普及指導員による技術支援等がある。

また、活用可能な制度として農業制度資金による融資制度があり農機具の購入等に活用できる。

(イ) 相談概要 無農薬農園のお手伝いを5年やってきた。今後は行政の紹介により休耕地を借りて、自分たちで作付を行っていきたいので、将来的な商品開発について相談した。

助言内容 商品開発については、誰に食べてほしいか（ターゲット）を明確にして、コンセプト（商品の特徴と魅力）

を創り上げることが重要。

試作品を作成し、デザインの検討、品質の管理、テストマーケティングでの販売による評価を行い、それを基に商品改良を行うことが、基本的な流れとなる。



(ウ) 相談概要 農地借入の具体的な手順について。

助言内容 150日間の農業従事と営農計画書の作成が一般法人が農業へ参入する条件となる。また、農業技術の習得支援として、農業アカデミーへの入校や普及指導員による技術指導がある。

(3) 農業技術等に係る助言・指導

農業分野への参入や6次産業化の取組みを実施する事業所等に対して、農業技術や6次産業化等の専門家による助言・指導のあっせん等を実施しました。

実施の内容は、次のとおりです。

区分	実施日	事業所名	所在	専門家	助言・指導の概要
1	4月 ～3月の 毎月1回	あるむ	大和市林間	JA さがみ	・農作業の基本 ・季節ごとの野菜の栽培管理 ・は種 等
2	3月8日	農業ステーション	小田原市鬼柳	JA かながわ西湘	・ベビーリーフ、ラディッシュの技術指導 ・病害虫への技術指導 ・土づくりに関する技術指導、等

(4) マルシェ（市場）の開催

農業関係団体と連携し、農福連携に取組む事業所によるマルシェ（市場）を開催しました。

かながわノウフクマルシェ in SunSun マルシェ

日時 平成30年7月1日 10:00～14:00

(SunSunマルシェ内にて開催)

場所 平塚湘南海岸公園

出店数 10事業所



外部有識者からなる工賃アップ推進検討会を開催し、工賃向上に関する意見を聴取するとともに、障害者生産活動支援事業全体の公平かつ効果的な実施に努めました。あわせて、共同受注窓口組織の自主運営に向けた方策の検討を行いました。

【検討会構成委員】

在原理恵 神奈川県立保健福祉大学准教授（学識者）
藤田直哉 公益財団法人けいしん神奈川相談役（中小企業診断士）
柴田和生 県身体障害施設団体連合会
福岡新司 県知的障害施設団体連合会
船山敏一 県精神障害者連絡協議会

【検討会の開催】

● 第1回開催

ア 日 時 平成30年9月4日（火）18:00～20:00

イ 場 所 （社福）ひばり 会議室

ウ 議 題

- ・平成30年度工賃向上支援事業計画（案）について
- ・第4期かながわ工賃アップ推進プラン（案）について
- ・はたらき隊かながわの自主運営に向けた方策の検討について
- ・発注に貢献した企業への表彰事業に係る選定委員会委員の選任について

● 第2回開催

ア 日 時 平成31年3月22日（金）13:30～15:00

イ 場 所 （社福）ひばり 会議室

ウ 議 題

- ・平成30年度工賃向上支援事業の進捗状況について
- ・就労継続支援B型事業所の工賃支払状況について
- ・はたらき隊かながわの自主運営に向けた方策の検討について

特定非営利活動法人 神奈川セルプセンター

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1丁目7-8 エスポワール304

TEL 0466-53-7802 FAX 0466-53-7803 kyodo@kyodo-juchu.com <http://www.kyodo-juchu.com>

発行日 平成31年3月